

津警察署協議会議事録

令和5年度第1回津警察署協議会	
日時	令和5年6月29日（木）午後1時15分～午後4時30分
場所	津警察署1階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 13名 飯田聡委員、加瀬由美子委員、佐藤男也委員、杉井ひろ子委員、鈴木一彦委員、高木暢子委員、竹尾久美子委員、田中克昌委員、寺田実智子委員、西出匠吾委員、前田律子委員、萬好哲也委員、水谷ひとみ委員</p> <p>2 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 警察署長挨拶 日頃の警察業務への理解・協力に対する謝意及び警察署協議会設立の経緯を説明した後、「委員の皆様からは、地域住民の代表として、津警察署の業務運営に関して御意見を賜りたい。」旨挨拶した。</p> <p>3 警察署幹部及び警察署協議会委員自己紹介</p> <p>4 会長・副会長の選出及び挨拶 警察署協議会委員の互選により、会長に高木委員を選出した。会長が西出委員を副会長に指名した。</p> <p>(1) 会長挨拶 「警察署協議会委員の皆様と警察署の方々と共に、安全・安心な地域づくりの実現に向けて、できることを考えて実行に移していきたい。」旨挨拶をした。</p> <p>(2) 副会長挨拶 「私のような若い者がこのような役職を受け、僭越ではあるが、高木会長を始め、皆様のご指導をいただきながら務めていきたいと思うので、よろしく願いしたい。」旨挨拶した。</p> <p>5 管内治安情勢（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況 「管内の刑法犯の検挙件数・検挙人員は、昨年と比べ増加している。特に、認知件数の増加が顕著で憂慮すべき状況である。」旨説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺の認知・検挙状況 「特殊詐欺の認知件数は、昨年と比べ減少しているものの、手口別にみると、「オレオレ詐欺」と「預貯金詐欺」が増加している。被害者はいずれも65歳以上の高齢者である。」旨説明した。</p>	

(3) **暴力団犯罪情勢**

「検挙件数は昨年と同じであるが、検挙人員は減少した。」旨説明した。

(4) **薬物犯罪情勢**

「検挙件数、検挙人員共に、昨年に比べ減少した。」旨説明した。

(5) **交通事故発生状況**

「令和2年以降、交通事故は増加傾向にあり、令和4年中、人身事故は減少したものの、死亡事故及び物件事故は増加した。令和4年中は5件5名の死亡事故が発生しており、うち1件は中学生がダンプカーにはねられて死亡するという痛ましい交通事故であった。管内の交通事故情勢はまだまだ厳しい状況である。」旨説明した。

(6) **主な交通安全対策**

「『横断歩道の“ハンドサイン”キャンペーン』、『ACTION38キャンペーン』を推進し、歩行者保護意識の定着を図るほか、高齢者施設等に対する参加・実践型の交通安全教育に取り組んでいる。」旨説明した。

6 協議内容

(1) **デジタル化への取組状況について**

＜委員＞ 国のデジタル化政策により、民間企業ではペーパーレス化やキャッシュレス化が急速に進んでいる。今後はより一層デジタル化が進むことになると思うが、デジタル化に向けた警察の取組についてお聞きしたい。

【署長】 現在、県警を挙げてデジタル化に向けた取組を推進している。例えば、氏名等を話せない老人を保護した際、後に判明した住所や氏名をデータベースに入力することで、再び保護された場合に早期に身柄を引き渡すことができるシステムが構築されている。

【副署長】 運転免許更新手数料などの支払いは、現在、県の規程により、現金のみの取扱いとなっている。最近は、現金を持たずに電子マネーで支払う方が増えているので、近い将来、公的な手数料の支払いにおいても、キャッシュレス化が実現するのではないかと感じている。

(2) **警察官の受傷事故防止について**

＜委員＞ 他県で立てこもり事件が発生し、対応した警察官が殉職されるという痛ましい事件が起きた。

市民を守ることが警察の仕事であると思うが、警察官自身の命を守ることにも大事なことであると思う。

初動対応の際、警察官の身を守るための対策についてお聞きしたい。

【署長】 常に、最悪の事態を想定し、最善の措置をとるように署員には指導しているほか、現場へ向かう警察官に対しては、幹部が「防弾チョッキの着用、拳銃の所持」などの指示を出している。

予期せぬ事が起こりうる世の中なので、緊張感を持って引き続き署員の命を大切にして頑張っていきたい。

備 考